JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2024
3月号
No.773

47都道府県サンクスツアーｉｎ徳島で指導をする石川佳純さん

マンスリーレポート ―― 2
・第17回JAふれ愛感謝フェア・徳島（農業機械大展示会）
・石川佳純さん47都道府県サンクスツアーin徳島
・JR徳島駅で県産花き展示
・徳島県にんじん振興協議会総会・にんじん出荷協議会
・「第24回佐那河内ふれあいまつり」農林産物品評会・表彰式
・羽田空港イベントで「徳島すだち」をPR!
・高志小学校で花育授業
・徳島県産春にんじんの認知度向上と消費拡大を図ります
・春にんじんレシピ
・第58回スーパーマーケット・トレードショー2024
・第25回全国果樹技術・経営コンクール

旬の野菜でおうちごはん ―― 11
・人参のフライ

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 ―― 12
・その㊻ ～いい人生だったと思って死ぬには～

交通安全のお知らせ ―― 12
・徳島県交通マナーアップ2024

トピックス ―― 13
・営農コラム

JA全農とくしま

～最新の農業機械を一堂に展示～

第17回JAふれ愛感謝フェア・徳島（農業機械大展示会）

2月17日と18日の両日、本所耕種資材部中四国広域農機事業所徳島農機事務所は、徳島県JA会館で「第17回JAふれ愛感謝フェア・徳島（農業機械大展示会）」を開催しました。

当フェアは、最新の農業機械を一堂に展示し、安全で効率的な農作業の提案と、農家の計画的な導入の促進を目的として、平成17年度から開催しています。

17日朝の開会式では、坂本雅彦県本部長、井関農機株式会社三輪田克志営業推進部副部長のあいさつの後、徳島農機事務所JA徳島市不動農機SC山田浩雅職員の発声による「ガンバロウ三唱」が力強くおこなわれました。

会場には、トラクター・コンバイン・田植機の最新機種や省力化に適した野菜専用農業機械の他、小物農機や中古農機が数多く展示されました。また農作業の労働力軽減・高品質生産を実現するスマート農業の提案、トラクターの試乗体験もおこなわれました。

2日間とも多くのお客様が訪れ、担当者の説明を聞きながら各商品の機能や特徴を確かめ、お目当ての商品を購入していました。

また徳島生活推進課による作業服の展示販売や徳島施設農住事務所の新商品紹介、当県本部営農支援課による栽培管理をサポートする「ザルビオフィールドマネージャー」の紹介やイチゴ「阿波ほうべに」「さちのか」の販売、展示商品購入者へのお楽しみ抽選などもあり、土日で延べ約600人のお客様が来場しました。

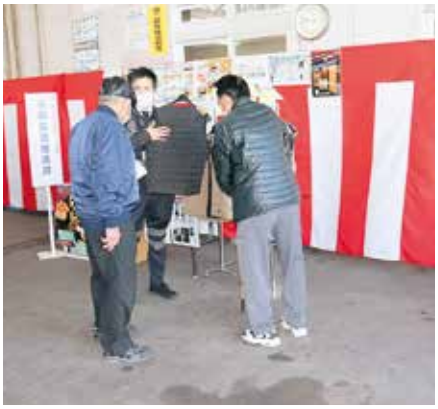
坂本県本部長による開会のあいさつ

力強くおこなわれた「ガンバロウ三唱」

大勢の来場者で賑わう会場

大きなコンバインに乗ってピース！

担当者より説明を受ける来場者



作業服を販売する徳島生活推進課職員

イチゴの販売などをおこなう営農支援課職員

～スポーツの楽しさを伝える～

石川佳純さん47都道府県サンクスツアーin徳島

2月4日、阿南市の那賀川町スポーツセンターで、全農所属で元卓球女子日本代表、全農オフィシャルアンバサダーでもある石川佳純さんが、全国を回ってスポーツの楽しさを伝えるイベント「石川佳純47都道府県サンクスツアーin徳島」（主催=徳島県、共催=一般社団法人徳島県卓球協会、協賛=当県本部）を開催し、約500人が卓球教室やトークショーを楽しみました。

卓球教室では、県内の卓球部に所属している小中高生や未経験者の小学生、合わせて80人が8グループに分かれ、石川さんからラケットの持ち方やスピンをかけるこつなどの指導を受けました。

希望者と対戦する場面では、1人の小学生がスマッシュを決めると会場から大きな歓声が上がりました。最後は石川さんから「緊張するということは、戦う準備ができるということ。良い緊張感を持ってみんなでボールを繋ぎましょう」と励ましの言葉を聞きながら、1人ずつ全員リレーでラリーがおこなわれました。

また、トークショーではこれまでの選手時代の経験談を交えながら、スポーツに取り組む姿勢について「チャレンジする限り次のチャンスがあるので、失敗を恐れず次の課題を見つけましょう」と語りました。

参加した中学生は「とても良い機会になった。益々卓球が好きになった」と笑顔で話してくれました。

参加者に指導をする石川佳純さん

トークショーで質問を受ける石川佳純さん

JA全農とくしまから来場者へすだちグミをプレゼント

～Tokushima Flower Festival 2023～

JR徳島駅で県産花き展示

徳島県ととくしまの花振興協会（会長=村上哲副本部長）は、昨年11月より県内各地で徳島県産花きのPR展示「Tokushima Flower Festival 2023」を開催しています。

2月8日～14日には、JR徳島駅のエントランスにおいて、白やピンク、黄のシンビジウムやオリエンタルユリなどを使用し華やかに飾り付けた美しいフラワーアレンジメントや鉢物（シンビジウム）を展示し、県産花きのPRを実施しました。

JRの利用客らは足を止め「徳島県の玄関口でもある徳島駅がとても素敵な空間になりましたね」と花の美しさに見入っていました。

JR徳島駅に展示された県産花き

足を止めて鑑賞するJR乗降客

～徳島県産春ニンジンの出荷開始へ向けて～

徳島県にんじん振興協議会総会・にんじん出荷協議会

2月9日、徳島県にんじん振興協議会および当県本部は、県内産地4JA、全国主力取引市場4社、徳島県および当県本部関係者など21人出席のもと、「令和5年度徳島県にんじん振興協議会総会」および「令和6年産にんじん出荷協議会」を当県本部会議室において開催しました。

開会にあたり、坂本雅彦徳島県にんじん振興協議会会長（当県本部長）と産地代表の橋本浩徳島県にんじん振興協議会副会長兼販売部会長（JA板野郡代表理事組合長）のあいさつがおこなわれ、消費宣伝事業や出荷販売対策について協議をおこないました。

本年度の消費拡大キャンペーンとして「徳島県にんじんの日（4月12日）」を活用したイベントの開催や大手食品メーカーとのコラボによる量販店等での共同販促活動、YouTubeやInstagramなどSNSを活用したメニュー提案や情報発信などの継続的な取組みに加え、今年は本県ならではのハウス栽培による春ニンジンの魅力を流通関係者、消費者に幅広くPRし、付加価値をつけた販売体制を構築する取り組みを強化する予定です。

なお、本年の徳島県産春ニンジンの播種面積は777.9ha（前年比98%）、計画出荷量は40,624トン（前年比101%）を予定しています。会議では、春ニンジンの生産量を維持していくために、当県本部をはじめ関係者一丸となって生産者手取り向上、再生産価格につながる取り組みをおこない、市場に対して有利販売への協力をお願いしました。市場担当者からは「前段産地から徳島県産への売り場の切り換えと増量期に応じた販売拡大に努めるので、産地からの正確な生産出荷情報の発信とML中心の平準出荷をお願いしたい」との要望がありました。

開会のあいさつをする橋本浩副会長

情報発信の説明をする坂本会長

～佐那河内村の最高級農林産物の品評会～

「第24回佐那河内ふれあいまつり」農林産物品評会・表彰式

2月4日、名東郡佐那河内村の佐那河内小中学校・体育館において、佐那河内ふれあいまつり実行委員会（会長=岩城福治村長）主催、JA徳島市、当県本部、その他関係機関の協賛による、「第24回佐那河内ふれあいまつり」が開催され、農林産物品評会・表彰式がおこなわれました。

同村内で生産された野菜や果樹、花きなど154点の出品物を、JA徳島市、県東部農林水産局、当県本部営農支援課の職員が、各専門ごとに品揃い、品質、形状、色沢、糖度などの審査をおこないました。

厳正な審査の結果「外観に優れた出品物のなかでも、特に果形・果皮色・玉揃いが優れていた」として、大西克典さんのキウイフルーツが徳島県知事賞を受賞しました。表彰式では他に、JA徳島市組合長賞、JA全農とくしま県本部長賞などの各賞入賞者へ表彰状が授与されました。

入賞者へ表彰状を授与する村上副本部長（左）

営農支援課職員などによる審査の様子

品評会の様子

～徳島県×ANA～

羽田空港イベントで「徳島すだち」をPR!

2月17日~18日の2日間、羽田空港で開催された地域の魅力体感イベント「Find Your Sky in HANEDA」において、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会および当県本部は徳島県産スダチのPRをおこないました。

当イベントは、徳島県とANAホールディングス株式会社が締結している包括連携協定の事業の一環として開催されたもので、空港第2ターミナル5F屋内展望フロアにおいて阿波おどりの公演や名産品の販売、美馬和傘を活用したフォトスポットの設置などが実施されました。

会場では2日間にわたり、すだち大使の中川かりんさんと園芸部職員がスダチ飲料「ザ・すだち」1,000本を来場者に配布し、すだちくんと共に「徳島すだち」をPRしました。

ザすだちを配布するすだち大使

たくさんの来場者が楽しんだ阿波踊り

～小学生がフラワーアレンジメントを体験～

高志小学校で花育授業

2月9日、徳島県洋ラン生産組合（組合長=加納康史、事務局=JA全農とくしま）は、上板町立高志小学校（校長=三浦克彦）で「花育授業」をおこないました。

この取り組みは、子どもたちに花に触れる喜びを知ってもらいたいという県内生産者の願いから実現したもので、4年生17人、5年生14人、6年生31人の生徒たちが参加しました。

はじめに加納組合長より、シンビジウム（切花）は徳島県が日本一の産地であることや育て方などの説明を受けた後、有限会社萌芽園の中道勇介氏が講師となり、シンビジウムをメインにしたフラワーアレンジメントを体験しました。

生徒たちは中道講師の指導のもと、それぞれ熱心に制作に取り組み、個性豊かな作品ができあがりました。

シンビジウムについて説明をする加納組合長（左）

フラワーアレンジメントに挑戦する児童

安心して使える！
切替は簡単！
JAでんき
料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。
切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。
JAグループだから

JA全農グループ
ジェイエイ徳島燃料サービス株式会社
■土成LPガスセンター ☎088-695-5380 ■西部販売所 ☎0883-87-8318

春にんじん
生産量
日本一

徳島県産春にんじんの認知度向上と消費拡大を図ります

トンネル内 播種100日後

播種150日後に収穫

当県本部と徳島県にんじん振興協議会は徳島県産春にんじんの消費拡大を促進しにんじん生産農家の経営安定と発展を図る活動に取り組んでいます。

にんじんハウス

徳島県では、ハウス栽培することにより抽苔を遅らせることができるため、冬にんじんと夏にんじんの端境期に**甘味が強く柔らかい春にんじん**が生産されています。ハウスが連なる情景はまるで銀色の海のようです。

[徳島県のにんじん農家が使用する標準的なハウス（間口3m）の場合]
徳島県のパイプハウス総延長距離は**2,000km**を超えます！
（10a=224m、春夏にんじん総面積=926ha［R4年産作付統計調査］で換算）

使用済のビニールは回収し主にリサイクルしています

にんじん栽培の歴史

昭和32年	藍住町で「トンネルにんじん栽培」試作開始
昭和35年	大阪市中央卸売市場へ出荷開始
昭和35年	石井町等で栽培開始。以降、産地拡大
昭和42年	野菜指定産地制度が導入
昭和44年	**「大型トンネル（竹製）」**で栽培開始
昭和40年代半ば	「酢ビフィルム」の導入
昭和57年	「ポリオレフィン系フィルム」の導入開始
昭和59年	豪雪で竹製トンネル倒壊、**「パイプハウス」**が普及
昭和59年	「コーティング種子」の試験栽培開始
昭和61年	にんじん横縞症が問題になり新品種「向陽2号」が導入される
平成　6年	「にんじん掘取機」が導入される
平成14年	新品種「彩誉」本格導入
平成15年	「フレコン方式にんじん掘取機」が導入
平成30年頃	気象による出荷量変動が問題となる

春にんじんレシピ

子どもがにんじん嫌いを克服する料理といえば・・・ カレー！！

阿波尾鶏カレー

阿波尾鶏と春にんじんをソテーした、
バターチキンカレー

阿波牛カレー

阿波牛と春にんじんを始めとした
県産野菜を素揚げしトッピングしたカレー

かき揚げ

にんじんは繊維に沿って切ると
歯ごたえが出て甘くなります
薄力粉＋片栗粉でカリッとフワッと！

にんじんスムージー

にんじんは皮ごと食べたほうが
栄養素を多く摂取できます
お湯を注いでホットスムージーもおすすめ！

レンジや炊飯器で簡単！

1本目

気になっていた あのレシピ

春にんじん丸ごと１本混ぜご飯

お米２合に料理酒 100ml と
水で指定量にする。
油揚げ１枚（短冊切り）と
人参１本（皮つきで OK）を
炊飯器に入れて炊く。

炊き上がったら、しゃもじで
人参を崩しながら混ぜる。

きのこ類やツナ缶、
バターや麺つゆなど
アレンジも楽しめます

2本目

夜ご飯のおかずは
明日のお弁当のスキマおかず！

春にんじんのナムル

人参の千切り１本分と
もやし１袋（200g）を
耐熱容器に入れ、軽くラップをして
レンジで５分程度加熱する。

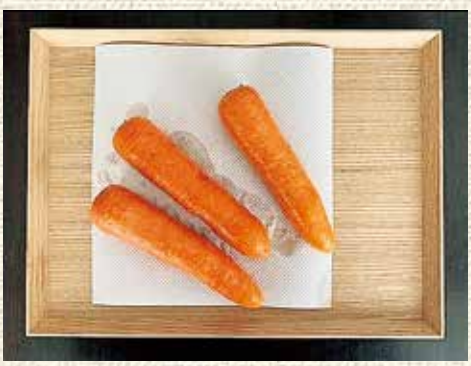
しょうゆ（小２）、
ごま油（大１）、
にんにくチューブ（小１）、
塩（少々）、ごま（適量）を
混ぜ合わせる。

市販の
シーズニングも
ありますよ～

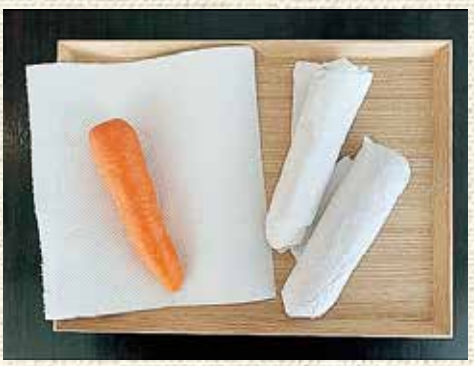
ピーマンなど
お好みでアレンジして
お弁当の
スキマおかずに！

にんじん保存方法

１本丸ごと保存



洗って水けを取る



キッチンペーパーで包む

立てて並べる

冷蔵庫の野菜室で保存

カットして保存

いちょう切りや千切りなどにカットする

ラップで包む

保存用袋に入れる

冷凍室で保存（約1ヵ月OK）

～徳島県産かんきつ果汁の消費拡大に向けて～

第58回スーパーマーケット・トレードショー2024

2月14日~16日の3日間、徳島県香酸かんきつ加工流通対策協議会（会長=村上哲副本部長）は、徳島県産かんきつ果汁の消費拡大に向けて、千葉県千葉市の幕張メッセで開催された「第58回スーパーマーケット・トレードショー2024」に出展しました。

当イベントは、様々な業種のバイヤーなどの来場者に出展品の魅力を紹介し、新たな販売取引を創出するための取り組みとして毎年催されているものです。今年は全国各地からの地域産品メーカーや海外からの出展参加もあり、3日間の入場者数は62,525人と大盛況となりました。

徳島県ブースでは、徳島県産スダチ・ユズ・ユコウの100%果汁や、果汁加工品（ポン酢、ジュース）などを展示し、すだち大使や園芸部職員が来場者に徳島県産柑橘の魅力をPRしました。来場者からはサンプル品や見積りの依頼などの反響も寄せられ、新たな販売取引の開拓に繋がる出展となりました。

来場者にザすだちの試飲をすすめるすだち大使

出展ブースが並ぶ会場

～木頭ゆず振興協議会が全国農業協同組合中央会会長賞を受賞～

第25回全国果樹技術・経営コンクール

2月15日、東京都千代田区の法曹会館で、第25回全国果樹技術・経営コンクール（主催=全国果樹技術・経営コンクール実行委員会）の表彰式が開催され、本県の「木頭ゆず振興協議会」が全国農業協同組合中央会会長賞を受賞しました。

このコンクールは、生産技術や経営方式において他の模範となる日本全国の先進的な果樹の農業者や生産団体を表彰し、その成果を広く紹介することにより日本の果樹農業の発展に資することを目的に、平成11年度に発足されました。

25回目となる本年度は、昨年の9月に全国から農業者部門と集団組織部門、計14点の応募があり、予備審査と本審査により「木頭ゆず振興協議会」はJAアグリあなんと一体となった永年にわたる高品質なゆずの生産と出荷の取り組み、GI取得や輸出などの様々な積極的活動が評価されました。

当日は全国農業協同組合中央会の杉山隆農政次長からJAアグリあなんの田中覚常務理事へ表彰状が授与されました。

表彰状を授与されるJAアグリあなんの田中常務理事（左から2番目）

表彰式に出席した関係者

料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介！

人参のフライ
～お好みソースディップ添え～

▼材料(2人分)

人参 ……1本
薄力粉……大さじ3
揚げ油……適量

A
- 塩、こしょう……各適量
- 好みで青のり……少々

B
- マヨネーズ……大さじ2
- お好み焼きソース……大さじ1

▼作り方

① 人参は皮を剥き、拍子切りにする。

② 薄力粉に水を加えてAをまぜ、①を絡める。

③ 170度の油で色づくまで揚げ、Bを添える。

POINT

衣は粘り気がある位の固さにするとカリッと揚がる。

料理研究家 HITOMI https://hitomi-cook.com/

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー ◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演／ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鱧を使った爽やか料理講習会／大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー（姫路、加古川、明石の3店舗）講師／神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など

徳島県の農産物と食

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記

文：濱堀秀規　イラスト：ちっちゃん

その166 ～いい人生だったと思って死ぬには～

◆多くのお世話になった方々に感謝◆

　このコラムも約14年間に亘り、大体、適当、いいかげんが、ちょうどいい加減になったらいいなあと続けてきたが、年度末の3月号で最終を迎える。つまり今回が最終である。

　改めて連載最初から、編集や内容についても様々なアドバイスをいただいていたJA全農とくしまの方々に感謝申し上げる。皆様大変お世話になりました。

◆大谷翔平◆

　大谷翔平が、メジャーリーグのロサンゼルス・ドジャースに移籍が決まった。この機会にロサンジェルスのドジャースタジアムへ訪れたいと友人と計画中であるが、高騰している観戦チケットが確保できるのかも、友人と相談しながらとなる。

◆またどこかで◆

　また今年は、オリンピック開催年でもある。新しいヒーローやヒロインが生まれる期待もある。春のタケノコのように気がつけばいつの間にか、次々とニョキニョキと生えてきて大きくなるかもしれない。

◆タケノコ産地◆

　徳島県内のタケノコは年内の12月から収穫が始まっている。県内は早掘りのタケノコ産地として有名である。タケノコはさまざまな料理に利用でき、季節商材として人気の高い食材である。徳島のタケノコの主な産地は、JAアグリあなん、JA東とくしまである。

　タケノコのように、知らない間に生えてきて大きくなる食材のように、新しいヒーローやヒロインが育ってほしいと願っている。とりあえずお菓子の「たけのこの里、きのこの山」を買ってきて気持ちを落ち着かせようか。

交通安全のお知らせ

徳島県 交通マナーアップ2024

　徳島県内における過去10年間の自動車対歩行者の事故をみると、約半数が道路横断中に発生しており、信号機のない横断歩道での死亡事故は、自動車の横断歩道手前での減速が不十分のものが多発しています。

　また、昨年JAFが行った信号機のない横断歩道における車の一時停止率では、

徳島県内　36.7%

と全国平均（45.1%）を下回っています。

　そこで、県警察では本年を『**交通マナーアップ2024**』と銘打ち、歩行者保護の徹底につながる情報発信や交通指導取締り等を推進して参りますので、みなさまもマナーの良い安全運転をお願いします。

横断歩道等における歩行者等の優先（道路交通法第38条第1項）

○横断歩道等に接近する場合の義務

　車両等は、横断歩道や自転車横断帯に接近する場合、進路の前方を横断しようとする歩行者や自転車がいないことが明らかな場合を除いては、その横断歩道等の直前で停止できるような速度で進行しなければいけません。

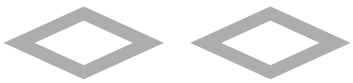
○横断歩行者等がいるときの一時停止

　車両等は、その進路の前方の横断歩道等を横断しまたは横断しようとする歩行者等があるときは、その横断歩道の直前で一時停止し、かつ、通行を妨げないようにしなければいけません。

〈違反点 2点　　反則金 普通車 9,000円〉

◇横断歩道又は自転車横断帯ありの道路標示

　道路にあるひし形マークの意味は、その先に横断歩道又は自転車横断帯があるという道路標示です。



☆4月から新入学生が通学路を登下校します

　入園や入学、進級を迎える4月は、生活環境が変化するとともに、歩行者の通行が多くなります。道路環境に不慣れ、また、初めての登下校では、歩くことに精一杯で安全確認を十分に行わないまま道路に飛び出してくる可能性もあります。通学路や住宅街では、特に速度を落とし左右の安全確認を行ってください。小学校周辺にはスクールゾーンがあります。

子供を守るという意識を持ち、交通事故防止に努めてください。

徳島県警察本部　交通企画課

営農コラム

地域の課題に対応し生産振興へ

営農支援課 技術主管 吉永 博明

現在、当県本部ではJAと共に各組合員へ直接訪問する体制を構築しております。本年度は1月末時点で約1,600件の訪問をおこなっており、訪問時にいただいた意見や要望を管内JAや当県本部の専門部署と共有しながら総合的に解決することで、生産振興につながるように取組みを進めています。

本コラムではその取組みのなかで、新たな作物への取組みとスマート農業に関する事例を紹介します。

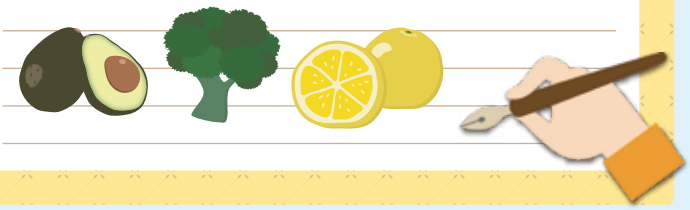
まず新たな作物への取組みについてですが、当県本部ではアボカドの産地化に向け、生産者・県・JA協力のもと県内で試験的に栽培をおこなっています。近年、アボカドは国内で人気が高まっており、日本で販売されているほとんどが外国産であるため、国産化が期待されている作物です。耐寒性の弱さから安定生産に課題がありますが、生産に必要な技術の開発に向けて取組みを進め、産地化を図ってまいります。

続いて、スマート農業関連では「ブロッコリーの黒すす病対策」と「ゆずの作業省力化」を目的に、ドローン防除の導入試験をおこないました。結果は、それぞれ作業の省力化と一定の防除効果が見込まれ、今後は県内への普及拡大に向け取組みを進めてまいります。

このように、営農指導の他にも多様な提案をすることにより総合的に組合員へのアプローチをおこない、今後も地域の課題に対応し生産振興に向けて取り組んでまいります。

TAC Tことん、A会って、Cコミュニケーション!!

『担い手を訪問して聴き取った情報をもとに、担い手農家の視点に立った事業提案をおこなうことにより、担い手が成果を得られた結果、JAグループとの信頼関係が結ばれるとともに、JAの事業にも結びつけていくこと』です。



園芸部

産直市「とくしまマルシェ」出店

当県本部園芸部は、県内JAと協力し、徳島市東船場町のしんまちボードウォークで毎月最終日曜日に開催される産直市「とくしまマルシェ」に出店しています。

2月25日は、JA徳島市が出店し、生椎茸や乾燥椎茸、椎茸菌床ブロック、カリフラワー（華てまり）、なると金時（甘姫）、レンコンの販売をおこないました。この日は朝から雨模様で風も吹く寒い一日となりましたが、揚げたての甘藷、カリフラワー、レンコンの「天ぷら」の試食が好評で、家族連れなどたくさんの買い物客に多く購入いただきました。

今後も「とくしまマルシェ」への参加を通じて、県産農産物等のPRをおこなってまいります。

本件に関するお問い合わせは、園芸販売課（電話088-634-2514）まで。

Marché 元気いっぱい、魅力いっぱい、とくしまマルシェ!
https://tokushima-marche.jp/

人気を集めた試食コーナー

雨の中、たくさんの買い物客が訪れました

企画管理課

～令和6年度事業計画について委員に説明～

令和5年度 経済事業推進委員会

2月19日、当県本部は「令和5年度経済事業推進委員会」をJA会館会議室で開催しました。

この委員会は、当県本部とその会員であるJAが一体となり、JAグループ徳島の経済事業の発展に期することを目的に、米穀・畜産・園芸・生産資材・生活・営農の6事業について県下13JAから推進委員を選任いただき、毎年開催しています。

各委員会では、始めに坂本雅彦県本部長より県本部全体の令和6年度事業計画について説明があり、その後の分科会にて令和6年度の部門別事業計画や重点実施策、事業推進要領について協議をおこない全て承認されました。

事業計画について説明をする坂本県本部長

企画管理課

～マクドナルド全国ミニバスケットボール大会出場チームに～

徳島県産米「あきさかり」を贈呈

2月8日、当県本部企画管理課広報室は、第55回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会（3月28日~31日・東京都の代々木体育館で開催）徳島県代表となった徳島市の加茂名南女子ミニバスケットボールクラブの必勝を祈念して、同チームへ徳島県産米（あきさかり2kg）20袋を贈りました。

贈呈前には同課仁木専任課長が、選手や保護者に向けて「食事を通じて心と身体の健康を維持することができます。徳島県産の食材をバランス良く食べて、全国大会には万全のコンデションで臨んでください」とお話しました。

当県本部は今後も、次世代を担う子どもたちを支援し、スポーツ=健康=食=全農のイメージ醸成と保護者・指導者に対する食農の啓発を目的に、SR（社会的責任）活動に積極的に取り組んでまいります。

全国大会に出場する加茂名南女子ミニバスケットボールクラブ

総務課

2025年新卒採用エントリー開始

JA全農は、令和6年3月1日（金）より、2025年新卒採用のエントリーを開始しました。3月29日（金）正午まで、以下のアドレスにて受付しています。

<JA全農・新卒採用情報ページ>
http://zennoh-recruit.jp/index.html

～JRT四国放送ラジオ2番組でスダチをPR～

すだち大使がラジオ番組で「とくしま鍋」を調理

2月2日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会（会長=坂本雅彦県本部長）は、四国放送のラジオ番組「となりのラジオ」（毎週月曜日~金曜日13:20~16:30放送）の生放送でスダチをPRしました。すだち大使の桧妃菜さんが出演し、同番組金曜日アシスタントの「徳島県住みます芸人みっとしーさん」とスダチを使った「とくしま鍋」を調理しながら、スダチをはじめ徳島県産農産物の魅力をリスナーに伝えました。

また同日収録をおこなった四国放送のラジオ番組「ＳＴＵ４８のすだちでキュン♡」（毎週月曜日23:00~23:40放送）では、四国放送アナウンサーの野口七海さんとSTU48の谷口茉妃菜さんが、すだち大使の活動内容やスダチの好きな食べ方などを桧さんに質問したり、美味しい調理法をお互いに勧め合い楽しくPRをおこないました。

スダチを使った「とくしま鍋」を調理

左からSTU48・谷口茉妃菜さん、すだち大使・桧妃菜さん、四国放送アナウンサー・野口七海さん

～おにぎりとスダチ飲料を配布予定～

「とくしまマラソン2024」を応援します!

3月24日（日）に徳島県内で開催される「とくしまマラソン2024」において、当県本部は今年も沿道応援隊を結成し、ランナーの皆様を応援します。

今年は下記の地点にて、『徳島県産米コシヒカリのおにぎり（一口サイズ）』と、徳島県産スダチ飲料『ザすだち』を配布しますので、ぜひご利用ください!

応援場所：JA全農とくしま「上板畜産センター」前の沿道（スタートから約17km地点、六条大橋を過ぎた先）

活動時間：9時35分~12時5分頃まで

ハウス栽培

徳島県産 春にんじん

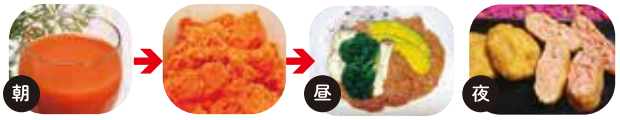
徳島県特有の栽培方法

やわらかさと甘さの秘訣はハウス栽培にあります!

徳島のにんじんは、寒い冬を越して春一番に全国の皆さまにお届けするため、ハウス栽培で徹底した栽培管理のもと大切に育てています。雨にあたらない乾燥状態で生育するので、やわらかくて甘いのが特徴です。

徳島県の春にんじんの生産量は日本一!!

朝は春にんじんを皮付きのままカットし、ジューサーへ。取り出した「しぼりかす」は、いろんな料理に利用できます。



にんじんジュース　しぼりかす　にんじんカレー　にんじんの落とし揚げ

JA全農とくしま　徳島県にんじん振興協議会
徳島市北佐古一番町5番12号 TEL.088-634-2514

春にんじんについて詳しくはこちら▶

毎年 4月12日(よいにんじん)は徳島県にんじんの日

JAタウン「新鮮大好き徳島」

JA全農とくしま YouTubeチャンネル

JA全農とくしま Instagram

JA全農とくしま クックパッド

JA全農とくしま ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農 JA全農とくしま
https://www.zennoh.or.jp/tm/

「JA全農とくしま情報」に関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は無料です。送付先の氏名・住所変更や、送付の停止につきましては、JA全農とくしま企画管理課広報室 **(電話 088-634-2462)** までご連絡ください。

JA全農とくしま 3月号 No.773・令和6年3月発行／毎月1回発行　発行所／全国農業協同組合連合会 徳島県本部 徳島市北佐古一番町5-12 TEL634-2462　編集発行人／坂本雅彦　印刷／松下印刷株式会社